

# 平成 30 年度 第 1 回生活充実講話(交通安全)

平成30年4月16日実施

## 1 目的

生徒が自らの命を、自ら守る意識を高めるとともに、規範意識の高揚を図り、交通事故の未然防止を目指す。

## 2 交通安全講話 演題「自転車事故について考える」

今回は東海自動車学校から講師を招き、自転車による交通事故防止に関する講話を聞いた。

交通ルールの重要性や自転車運転の危険性について、様々な映像や実際に生徒が自転車を走行することで改めて認識することができた。

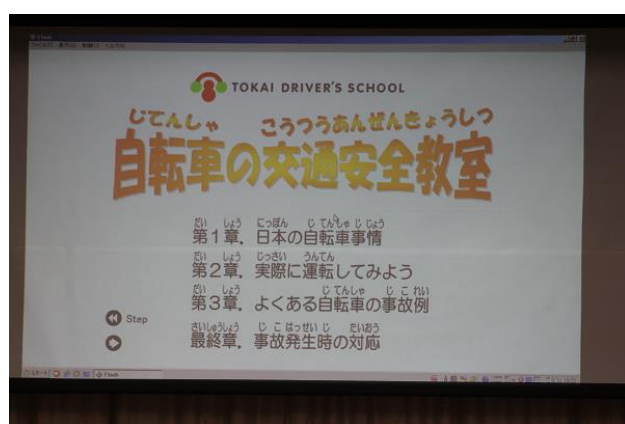
### 【自転車による交通事故の実情】

最も事故が多い年齢層は 16 才～24 才であり、次に 15 才以下、高齢者と続くがこれらで全体の約 7 割を占めており、交差点での自動車との出会い頭の事故が多い。

これらの事故を防ぐためには「止まれ」の標識で一旦停止することやスマホ、傘さし、2 人乗りでの運転をしないことである。

### 【生徒による実際の自転車運転】

生徒が実際に体育館の中で傘をさして自転車を運転したり、2 人乗りをしたりすることによって、通常の運転状態と違って、いかに不安定で危険な状態になるかということを全校で認識することができた。



## 3 生徒の感想

私が普段行っていたことは違法なことで、知らないことがいろいろあってとても価値のある講話だった。自転車は軽車両であり加害者にもなりうる危険な乗り物であることも分かった。実際に違法運転を見て危険だと感じたことがとてもいい刺激になった。今回学んだことは全て自分のことだと自覚して日頃の自転車の乗り方を改めていきたい。(1 年男子)